

飛躍

森町立旭が丘中学校 第3学年
学年通信 第19号
2020年 9月 4日 (金)
文責 太田 雄司

第1回学力診断調査が終わりました！！

9月2日(水)に今年度第1回の学力診断調査が行われました。そして、昨日全教科の解答用紙を返却しました。結果を見てどのように感じたでしょうか？夏休みに取り組んできた学習の成果を発揮することはできたでしょうか？今回のような、1・2年生の学習内容を含めた3年生までに学習した内容全てが出題範囲となる広範囲のテストは、生徒にとっても初めて経験するものであったのではないのでしょうか。ここまで範囲が広くなると、一朝一夕の学習ではとても対応できません。きっと毎日の学習や毎時間の授業の積み重ねがいかにか大切かということを実感したことと思います。受検における学力検査はこの先に学習する内容も含まれるため、さらに広い範囲からの出題となります。と言うことは、なおさら日頃の積み重ねが重要になってきます。出題範囲が広く、真の実力を試される今回の学力診断調査を終えて、自分の課題や弱点が明確になったはずです。また学習方法や内容についても修正すべき点が見えてきたことと思います。それらをしっかりと認識して、今後につなげていくことが大切になります。学校でもきっちりと反省や振り返りをしていきますが、御家庭でも、お子さんとともに夏休みの学習を振り返ったり、今後の学習方法や内容について考えたりする機会を設けていただきたいと思います。



次のテストは、10月1日(木)に行われる2学期中間テストです。



昨年度の学年通信第29号で左の図を掲載しました。そして「受検の厳しさは箱根駅伝の山登りの5区に似ている。」ということも述べさせてもらいました。中学3年生の今(9月)は図中の宮ノ下あたりになるのではないのでしょうか。昨年度の3月から約3か月の休校があったため、小田原中継所(中学3年生)のスタートが4月から6月にずれ込んでしまいました。しかし、5区の距離は変わりません。高低差も同じです。つまり、相当スピードを上げて走らなくてはならなくなりました。そして、そのスピードの

ままで最高地点、つまり受検の厳しさのピークである中学3年生の12月まで駆け上らなくてはならないのです。中学3年生は、今まさに一番険しい道のりを走っているところです。スピードを上げ、急勾配を上がっていくのはとてもきつく、苦しいことです。しかし、「きついと思ったところからが成長」です。そして、「苦しいときにしか学べないことがある」のです。だからこそ、歯を食いしばってでも走り続けなくてはならないのです。受検生であるという「自覚・意識・覚悟」をもって日々の学習や生活を積み重ねることで、一步一步困難な道のりを前へ進んでいけるよう、生徒への声掛けや励ましをよろしくお願いいたします。

☆親子奉仕作業

1学期中に文書でお知らせした通り、明日、9月5日(土)に「親子奉仕作業」を行います。参加確認票の提出ありがとうございました。詳細は以下の通りです。予備日は、6日(日)になります。なお、高校のオープンキャンパスへの参加等により当日欠席する場合は、10月3日(土)の2年生の奉仕作業に出席してください。

<日程>

7:30 PTA学年委員、生徒学級委員集合

※道具の準備、学級担任と分担箇所及び作業内容の確認

8:00 集合 8:05 開会式 8:10 作業開始

9:10 作業終了・片付け 9:25 閉会式・解散

<服装・持ち物等> 長袖・長ズボン・帽子・軍手・水筒 等

※実施不可能の場合、7:00に「マメール」で連絡します。

